

SIO_8bit_TRANS_RECEIVE

1. 動作概要

同プログラムを搭載したボード2台において
送信モードのボードより受信した1バイトのテストデータをターミナルソフトにて表示する。

2. 各設定

<u>SIO</u>	: SO1(Port90) : SI1(Port91) : SCLK1(Port92)	
<u>UART</u>	: TXD2(Port93) : RXD2(Port94)	
<u>転送選択エッジ</u>	: default = 立上りエッジでデータの受信、立下りエッジでデータの送信 main.c : "#define SIO_SEL_EDGE"の値を変えることで転送選択エッジを変更できます。	
<u>シリアルクロックの選択[Hz]</u>	: default = fcgck/2^9 main.c : "#define SIO_SCLK"の値を変えることでシリアルクロックを変更できます。	
<u>転送フォーマット(MSB/LSB)の選択</u>	: default = LSBファースト main.c : "#define SIO_TRANS_FORMAT"の値を変えることで転送フォーマット(MSB/LSB)を変更できます。	
<u>転送モードの選択</u>	: 8ビット送受信モード	
<u>コマンド一覧</u>	: write	テストデータを送信する
<u>シリアルポート設定</u>	ボーレート データ パリティ ストップ フロー制御	: 115200(bps) : 8(bit) : なし : 1(bit) : なし

3. 基本動作

送受信モード用プログラムを書き込んだボード2台用意し、互いのSO1、SI1を接続する。
一方のボードに対してターミナルソフトにて“write”コマンドを入力し、
20ms周期で1バイトのテストデータを出力する(テストデータ : 0x00-0xFFを1ずつカウントアップした値)。
もう一方のボードにおいてテストデータを受信する毎に受信用のターミナルソフトに表示する。

受信側ターミナルソフト表示例

```
SIO Sample Program
-----
Received data:
0x00
0x01
0x02
0x03
```

4. 特記事項

特になし